

令和2年度 第3回 岡山県医療対策協議会【議事要旨】

1 日 時：令和3年2月18日（木）15：10～16：00

2 場 所：メルパルク岡山 3階 「曙」

3 出席者：別紙のとおり

4 議題

- ・令和4年度臨床研修病院の募集定員について
- ・その他（2021年度専攻医一次登録における領域別採用状況について）

5 議事要旨

議題

- ・令和4年度臨床研修病院の募集定員について

事務局から、資料により令和4年度臨床研修病院の算定方法について説明があり、事務局案が了承された。

〈委員の主な意見〉

- ・昨年度は、調整の時間がなく、関係者の意見集約も十分に行われないうちで、病院ごとの募集定員を決定された印象がある。県は、その際、今後は丁寧に議論を重ねるといったことだったが、今年度そうした経緯が見られないように感じる。病院ごとの募集定員の決定に当たっては、関係者がなるべく納得した上で進めるようにしてほしい。

（事務局）県としては、昨年11月の臨床研修連絡協議会で県の方針を示し、コロナ禍において文書での意見集約も行うなど、手順は踏んでいるものと認識している。また、本日の会議でも忌憚のない意見をいただきたい。

- ・県の苦労は十分承知している。しかし、今年度も確かに時間だけは経過したかもしれないが、議論が不十分である。皆が等分に納得するのは無理としても、次年度こそは早い段階からしっかり議論することを望む。
- ・資料（国への要望書）の中で、昨年度は要望活動の結果5人分の追加配分があったとある。これは、岡山県の募集定員上限には様々な問題があるということで国に要望を行ったということによいか。

（事務局）皆様との議論の中で具体的に意見のあった、岡山県が中四国地方の医療を支えているという点、またそうしたことに医育機関が尽力されている点等を国に伝えていった結果、募集定員上限の追加配分があったものである。また、コロナ禍で関係者との調整が困難となっている状況に対する国の配慮もあったものと考えている。

- ・中四国地方で岡山県だけが募集定員を大幅に削減されている。マッチ結果は、岡山県のマッチ率が約95%と非常に高くなっている一方、他県は平均約68%と低く、募集定員も多数余っている。偏在是正の効果が出ていないのではないかと。中四国地方で、マッチ率が悪く募集定員が余っている県の募集定員を、岡山県へ配分するよう国で調整してもらいたい。

(事務局) ご指摘のとおり、中四国地方において、募集定員が増えているにもかかわらず、マッチ数が減り募集定員を余らせている県があり、本県としてもそうした点は着目している。昨年度は、最終的に国の制度化には至らなかったが、本県と結び付きの強い広島県に対し、募集定員の余剰分を本県に移行いただけるよう打診する等の取組も行ったところである。引き続き、中四国地方の医療を支えている本県の実情等を伝えつつ、そうした対応について国に要望してまいりたい。

- ・岡山赤十字病院の令和3年度採用のマッチ数について、資料では9となっているが、これは病院で手違いがあったもので、実質的には11であるので、配慮いただきたい。
- ・国は、医師が都会に集中して地方に集まらないことから、地域ごとの募集定員の設定において、医師の多い都会の募集定員を削減しているものと思うが、岡山県は都会ではない。岡山県の医師が多いのは、中四国地方の医療を支えているためであるので、医師の多寡で単純に決めるのではなく、そうした実情を認め、岡山県の定員削減をしないよう国に言っていくべきである。

(県) 国は、計算方法を公表した上で、都道府県ごとの募集定員を機械的に設定しており、県としては、計算に用いられる指標の中で努力できる部分があれば、まずはそうした部分の取組を行っていくことになる。その上で、ご意見のとおり国に対して岡山県の現状を踏まえて要望を出していくことが重要と考えており、引き続きそうした活動は行ってまいりたい。

・その他（2021年度専攻医一次登録における領域別採用状況について）

事務局から、資料により2021年度専攻医一次登録の状況について報告があった。

〈委員の主な意見〉

- ・専攻医の募集定員のシーリングにより、各施設が年に何度も集まって調整を行うなど、募集定員の数で戦々恐々としている状況であるが、シーリング数の最終決定が遅い。シーリング撤廃が最もありたいが、それが難しければ、より早く病院間の募集定員の調整を行うため、最終的なシーリング数を少しでも早く教えていただきたい。また、岡山県は医師が多いということだが、医育機関が県外に多くの医師を派遣しており、カウントの仕方がおかしいのではないかと感じている。

(事務局) 専攻医の募集定員のシーリングについては、県としても昨年度から国に対して様々な意見を伝えているところである。今いただいたシーリング数を早めに教えてほしいという意見や、我々が課題として認識している、医師少数区域以外の連携施設についても、地域貢献率の算出において考慮してほしい等の意見について、国に伝えてまいりたい。